

# 秋田街道

宮沢賢治

青空文庫



どれもみんな肥料や薪炭をやりとりするさびしい家だ。街道のところどころにちらばって黒い小さいさびしい家だ。それももうみな戸を閉めた。

おれはかなしく来た方をふりかへる。盛岡もりをかの電燈は微かにゆらいでねむさうにならび只公園ただのアーケ燈ところだけ高い処ところでそらぞらしい気焰きえんの波を上げてゐる。どうせ今頃いまごろは無鉄砲な羽虫が沢山集つてぶつつかつたりよろけたりしてゐるのだ。

私はふと空いっばいの灰色はがねに大きな床屋のだんだら棒、あのオランダ伝来の葱ねぎの形つぼみをした店飾りを見る。これも随分たよりのないことだ。

道が小さな橋にかゝる。螢ほたるがプイと飛んで行く。誰たれかがうしろで手をあげて大きくためいきをついた。それも間違ひかわからない。とにかくそらが少し明るくなった。夜明けにはまだ途方もないしきつと雲が薄くなつて月の光とほが透つて来るのだ。

向ふの方は小岩井農場だ。

四つ角山にみんなぺたぺた一緒に座る。

月見草が幻よりは少し明るくその辺一面浮んで咲いてゐる。マッチがパツとすられ、たばこ 青いけむりがほのかにながれる。

右手に山がまっくろにうかび出した。その山に何の鳥だか沢山とまって、ねむ 睡つてゐるらしい。

並木は松になりみんなは何かをい争ふ。そんならお前さんはこゝらでいきなり頭をなぐ 撲りつけられて殺されてもいゝな。誰かが云ふ。それはいゝ。いゝと思ふ。睡さうに誰かが答へる。

道が悪いので野原を歩く。野原の中の黒い水みづたまり 潦らうに何べんもみんな踏み込んだ。けれどもやがて月が頭の上に出て月見草の花がほのかな夢をたゞよはし、グ フィーマスの土の水たまりにも象牙細工ざいごの紫がかつた月がうつりどこかで小さな羽虫がふるふ。

けれども今は崇高な月光のなかに何かよそよそしいものが漂ひはじめた。その成分こそ

はたしかによあけの白光らしい。

東がまばゆく白くなった。月は少しく興さめて緑の松の梢こずえに高くかかる。

みんなは七つ森の機嫌きげんの悪い暁の脚まで来た。道が俄にはかに青々と曲る。その曲り角おれはまた空にかぶ巨おほきな草穂くさほを見るのだ。カアキイ色の一人の兵隊がいきなり向ふにあらはれて青い茂みの中にこゞむ。さうだ。あそこに湧わきみづ水があるのだ。

雲が光つて山山に垂れ冷たい奇麗な朝になった。長い長い雫しづ霰くいしの宿に来た。犬が沢山吠ほえ出した。けれどもみんなお互に争つてゐるのらしい。

葛根かっこんだ田川の河原におりて行く。すぎなに露が一ぱいに置き美しくひらめいてゐる。新鮮な朝のすぎなに。

いつかみんな睡ねむつてゐたのだ。河本さんだけ起きてゐる。冷たい水を涉わたつてゐる。変に

青く堅さうなからだをはだかになつて体操をやつてゐる。

睡つてゐる人の枕もとまくらに大きな石をどしりどしりと投げつける。安山岩の柱状節理、安山岩の板状節理。水に落ちてはつめたい波を立てうつろな音をあげ、目を覚ました、目を覚ました。低い銀の雲の下で愕おどろいてよろよろしてゐる。それから怒つてゐる。今度はがわらひをしてゐる。銀色の雲の下。

帰りみち、ひでり雨が降りまたかゞやかに霽はれる。そのかゞやく雲の原

今日こそ飛んであの雲を踏め。

けれどもいつか私は道に置きすてられた荷馬車の上に洋傘かうもりがさを開いて立つてゐるのだ。ひどい怒鳴り声がある。たしかに荷馬車の持ち主だ。怒りたけて走つて来る。そのほつぺたが腐つて黒いすものやう、いまにも穴が明きさうだ。癩らいびやう病にちがひない。さびしいことだ。

虹にじがたつてゐる。虹の脚にも月見草が咲き又こゝらにもそのバタの花。一つぶ二つぶひ  
 でりあめがきらめき、去年の堅いかつしよく褐色のすがれに落ちる。

すつかり晴れて暑くなつた。雫しづくいし 石川の石垣いしがきは烈はげしい草のいきれの中にぐらりぐら  
 りとゆらいでゐる。その中でうとうとする。

遠くやなきの楊の中の白雲でくわくこうが啼ないた。

「あの鳥はゆふべ一晩なき通しだな。」

「うんうん鳴いてゐた。」誰たれかが云つてゐる。





# 青空文庫情報

底本：「新修宮沢賢治全集 第十四卷」筑摩書房

1980（昭和55）年5月15日初版第1刷発行

1983（昭和58）年1月20日初版第4刷発行

※本作品中には、身体的・精神的資質、職業、地域、階層、民族などに関する不適切な表現が見られます。しかし、作品の時代背景と価値、加えて、作者の抱えた限界を読者自身が認識することの意義を考慮し、底本のままとしました。（青空文庫）

入力：林 幸雄

校正：mayu

2003年1月10日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 秋田街道

宮沢賢治

2020年 7月18日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>